

平成25年度大学コンソーシアムとちぎ 学生活動支援事業 報告書

機 関 名	宇都宮大学
団 体 等 名	教育学部総合人間形成課程 生きる力の育みプロジェクト
学生代表者氏名 (所属・学年)	宇都宮大学 教育学部 総合人間形成課程 3年 菊池 佑子
責任教職員氏名	宇都宮大学 教育学部 准教授 川原 誠司

1. 事業名	5歳児の「生きる力」を育てる体験プロジェクト
2. 実施時期	平成25年4月～平成26年3月
3. 実施場所	宇都宮大学教育学部附属幼稚園
4. 事業の内容等	<p>【概要】 5歳児の子どもの「生きる力」を育むことを目的としたプロジェクトである。「生きる力」には諸概念が存在するが、今回は「感情コントロール力」「自己表現力」「自己を肯定できる力」として定義する。それらを育むことの出来る絵本製作・活動プログラム作成を行う。その上で幼稚園などに依頼し、実践する。</p> <p>【方法】 ◆組織体制 学生10名（3年生2名、2年生8名）。責任者として教員1名。学生を「絵本作成班」「工作活動班」の2つに分け、各班3年生がリーダーとなり作業遂行。なお、メーリングリストやe-LearningなどのICTを使用し、相互的に連絡や情報交換を行った。</p> <p>◆活動日程 4月→活動団体発足（作業蓄積場所・連絡体系の設定） 5月→内容検討（ビデオ鑑賞や教育要領の購読により5歳児の知識習得） 6月→内容確定、申請書作成 7～2月→絵本製作、工作活動考案、実施準備 3月→打合せ、修正、参加観察（3/5・3/7）、実践（3/11・3/13）</p> <p>【内容】 ◆絵本製作 子どもが自己表現力や感情コントロール力を感じることが出来るストーリーであることを前提とし、絵コンテを作成しながらストーリーを構築していった。登場人物の性格設定（優しい、冷静など）を行うことで、負の側面も織り込んだ心理描写を行った。また5歳という時期に相応しい発達段階として、大人の支援により子どもが自分の気持ちを吐露する場面も描いた。なお、教育的なものになりすぎないように、魔女や魔法といったファンタジーやアナグラムの言葉遊びも取り入れた。絵コンテストーリーをもとに、キャラクター設定を行い作画、色塗りを行った。</p>

実施の前に、附属幼稚園の先生のご指導を受けた。そこで30枚と言う枚数が多いというご指摘を受けた。また背景などに改善すべきところが見られたため、絵を全て書き直した。このA4の絵本をA3の紙芝居にし、実施の際の呈示用とした。

◆工作活動プログラム作成

活動プログラムの考案にあたって2つのことを前提とした。1つ目は形にするための活動であること。そのためストーリーの内容や今後の使用を加味し、絵本中に出てくる宝箱を作成することにした。底を切り開いたティッシュボックスに色画用紙を貼ったものを宝箱の原型として使用した。また自分だけの宝箱にするために、自由装飾の時間を設け、使用材料の検討や絵本に登場するキャラクターのシール作成を行った。

2つ目は「生きる力」の内容を反映することが出来ること。そこで宝箱の裏に貼りつける紙プレートというアイテムを考えた。動物や果物のプレートを作成しその中に言葉を書いた。言葉には大きく2種類ある。「なりたい自分」「自分の良いところ」。前者は自己表現力や感情コントロール力に関することば「やくそくをまもる」「ちゃんとありがとうをいう」などである。自分の課題となるものを選ぶことで自分の課題を見つめる狙いがある。後者は友達に選んでもらうことで自己肯定感の増加という狙いがある。言葉は「ゆうきがあつてすごいね」「みんなにやさしくてすごいね」など。

附属幼稚園の先生に作成した指導案に関するご指導を仰いだ。友達にプレートを選択してもらうことを考慮し班作成を慎重にすべきとのご指摘を頂いたので、班作成は担任の先生に依頼した。

◆参加観察

日時：2014年3月5・7日 計5時間

場所：宇都宮大学教育学部附属幼稚園

対象：年長児2クラス

実施の対象となる子どもと実際に触れ合うことで、子どもの反応や動きを実感することが出来た。両日ともに振り返りを行い、実際の活動におけるシミュレーションや安全面の配慮に活かした。

◆実施1

日時：2014年3月11日 12:30~14:00

場所：宇都宮大学教育学部附属幼稚園

対象：月組児童31名

12:30~13:30までの1時間という予定であったが、時間内に終了することが出来なかった。これは、指示の不明瞭さや進行の無駄、ボンドやきらきらのりなどの乾燥を要する材料を使用してしまったことが原因であった。また紙芝居では重量によってめくりにくく途中で止まってしまふということが起こった。その日のうちに反省会を行い、他の反省点も明確にした。そこで紙芝居の台を作る、使用材料を変更する、指示の出し方を変えるなどの対策を行った。

◆実施2

日時：2014年3月13日 12:30~13:30

場所：宇都宮大学教育学部附属幼稚園

対象：星組児童32名

	<p>1回目の反省を踏まえた2回目では、対策を行った様々な問題が改善された。紙芝居の読み聞かせ方とプレート選択の時間配分に改善の余地が残されてはいるものの、前回の対策は効果的であったと言えるだろう。</p> <p>両日ともに、紙芝居への興味やプレート選択の真剣さがうかがえた。少しでも、絵本で日常の「生きる力」を実感し、工作活動で自分の「生きる力」を実感してくれたと感じる。そして工作活動で作成した宝箱と共に絵本の内容を思い返してくれること、大切にしてくれることを期待する。</p>
<p>5. 事業の成果と今後の課題</p>	<p>【事業の成果】</p> <p>当初の目的である「生きる力」育みのため、子どもがそれらを実感できる絵本を作成することが出来た。またそれを紙芝居形式にし、実際の活動において子どもに呈示した。子どもたちは先の展開を口にしたり、言葉遊びを解いたりしており、関心をもって聴いてくれたと感じる。今回作成した絵本はいつでも使用可能な状態にしてあり、今後も機会があれば活用していくことが可能だろう。なお今回このプロジェクトを実施させていただいた宇都宮大学教育学部附属幼稚園においては、絵本を進呈したので今後も多くの子どもの目にふれることを期待している。</p> <p>また、絵本で実感した「生きる力」を自分のことに還元することを目的とした工作活動を考案することが出来た。この目的においてプレート選択は要となった。その際、絵本の登場人物になぞらえた説明を行うなどして、自身を見つめ自分の課題となるプレートを見つけることが出来た。一方自分の良い側面も、友達に選んでもらうプレートで感じる事が出来た。子どもたちは装飾にも熱心に取り組み、大きな達成感と共に自分だけの宝箱を得ることが出来た。本プロジェクトを子ども一人一人の形として残すという意味においても、工作活動は大きな役割を果たしたと思われる。</p> <p>【今後の課題】</p> <p>絵本製作における大幅な遅れにより、当初の予定の半分の子どもにしか実施することが出来なかった。そこで今後は本プロジェクトの広報活動を行い、幼稚園や保育園からの要望を頂けたら実施したいと考えている。また今回2回の実施を行い、1回目と2回目で手順や材料に改良が加えられより良いプログラムとなった。しかし未だ残る反省点もある。改善すべき反省点は2つ。1つ目は紙芝居の読み方である。ストーリーを聴かせるためには、子どもに伝わる声の表現や目の配り方が必要となる。この点に関して次回の実施機会までに、更なる練習が必要である。2つ目はプレート選択である。想定以上の時間がかかってしまう、選べない子どもがいるなどの問題が発生している。これは私たち大学生の子どもとの向き合い方や接し方における未熟さが関係しているように思う。</p> <p>本プロジェクトの広報活動、実施における反省点の改善、この2つが今後の大きな課題である。</p>

- (注) 1. 記述が枠内に収まらない場合は、枠を拡大してください。
2. 事業内容がわかるような資料や写真などがあれば添付してください。
報告書(添付書類を含む)はA4判5枚以内にまとめてください。
3. この報告書は、各関係機関等に公表するとともに、大学コンソーシアムとちぎのホームページへの掲載を考えております。また、次年度以降の学生生活動支援事業に役立てていきたいと思っております。

<活動写真>

ティッシュ箱の回収にご協力ください!!!

私たち川原プロジェクトでは、総合人間形成課程の授業の1つである「プロジェクト研究I/II」の中で、5歳児を対象に絵本の読み聞かせをして、それを踏まえて子どもたちと一緒に工作をすること を計画しています。そこで、空のティッシュ箱を集めているのですが、

まだまだ活動に使うには足りません!

どうか皆様、ご自宅に空のティッシュ箱がございましたら、私たちに譲っていただけませんか?



いただきたいもの：ティッシュ箱

(何個でも構いません! 多ければ多いほどありがたいです!)

回収方法・期日：12/24(火)~12/27(金)に大々的な回収を行います!

①08:30~09:00 教育学部 A棟前

②12:00~12:50 大学会館前

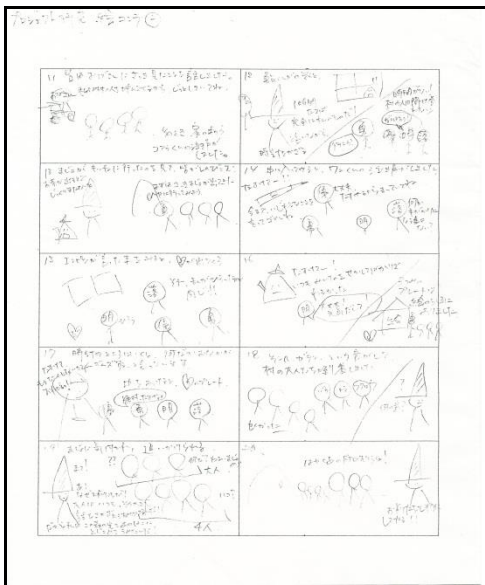
また、12/27(金)の回収の後でも1月末日まで集めておりますので、ご協力いただける際は、教育学部 B棟 5階 総合人間形成課程控え室にお持ちいただくか、人間発達領域 3年菊池佑子、2年阪塚梓、永井美奈子、地域公共領域 2年吉成亮輔、環境創造領域 2年榎幸サラ に直接お渡しください。

***ティッシュ箱をお持ちいただく際は、潰さずにお渡しください。**

ティッシュボックス回収のために配布したチラシ



チラシ配布の様子(大学会館前)



絵コンテによる絵本ストーリー作成



出来上がった絵本の一部



絵本読み聞かせ（紙芝居形式）の様子



工作活動（宝箱づくり）の様子



自分ならびに相手への紙プレート選びの様子



子どもたちの作品